

## □活動状況表

四国支部 徳島県部会

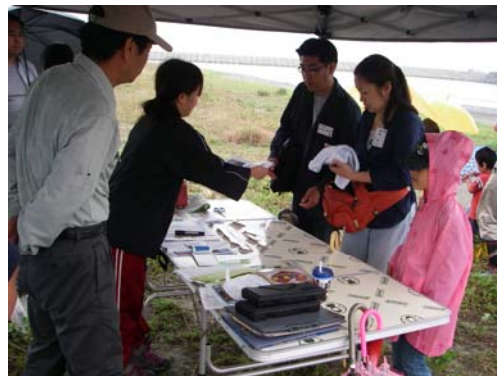
1. テーマ種別	環境学習
2. タイトル	海の環境学習の支援を通じた社会貢献
3. 日時	平成 24 年 6 月 24 日 (日), 平成 24 年 7 月 21 日 (土)
4. 場所	マリンピア沖洲人工海浜
5. 協会担当部門	建設コンサルタンツ協会 四国支部 徳島県部会
6. 概要	<p>ミティゲーションによって造られた人工海浜において、子ども達に海浜の環境を学び、魅力を発見してもらうため、海浜に生息する希少生物ルイスハンミョウの観察や、アサリの飼育床を竹で自作し、アサリの飼育と生態の観察など、生き物とのふれあいを大事にした環境学習会を実施した。</p>
7. 報告	<p>徳島市沖洲には開発事業に伴い消失する海浜に対して、希少種等の代償や防災を目的に造成された人工海浜がある。この海浜の課題に、人と海浜のつながりが薄いことが挙げられる。そこで、地元小学生(39名)とその保護者(21名)を対象に、沖洲人工海浜で活動する団体「沖洲海浜楽しむ会」とともに、アサリの飼育を通して海浜の魅力を発見できる環境学習プログラムを実施した。</p> <p>第一回目は、マイアサリを育てるための飼育床を竹で作った。そして、大分県の中津干潟でうまれたアサリの稚貝の大きさを測定したのち、大きささまざまな砂で作ったベッドに入れ、それを竹に入れて海浜に設置した。あいにくの雨であったが、親子で協力しながら、最後まで諦めずに竹を切る姿が印象的だった。大人達は本当に竹で育つか?と不安そうにしていたが、子ども達はアサリの成長を楽しみにしている様子だった。</p> <p>第二回目は、前回から1ヶ月経ったアサリの成長を観察した。子ども達はアサリの大きさを測り、大人達はアオノリやフジツボが付いた竹の掃除を行った。また、アサリをじっくり観察し、貝殻に成長の線が見え、模様や色が違っているのを確認した。住む環境が変わると、貝殻にも変化が現れることを学んだ。そして、より詳しく観察するため、気に入ったアサリを一つ選び、スケッチブックにアサリの絵を描いた。さらに、貝には様々な形や色、模様、大きさがあることを知ってもらうため、徳島県南部で拾った貝殻を使って、自分だけのフォトフレームを作った。また、沖洲人工海浜に生息する希少種ルイスハンミョウを観察し、ルイスハンミョウの生態や、海浜環境について学んだ。</p> <p>参加者からは、普段目にしないものが見られて、興味深い貴重な体験だったと感想いただいた。沖洲人工海浜の魅力は、二回分だけでは伝えきれず、今後も積極的なPRや海浜学習を行っていきたい。</p>
8. 資料	写真、チラシ

平成 24 年 6 月 24 日(日)

なよ竹部屋(アサリの飼育床作り), 飼育アサリを測定して飼育床に, そして海中に設置



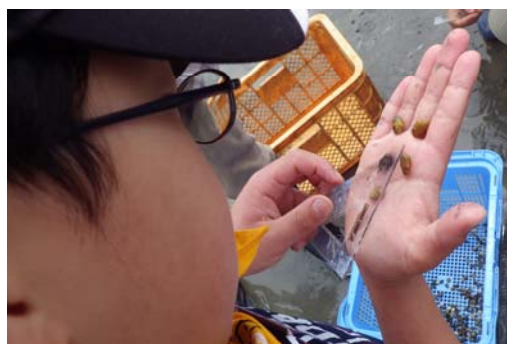
建コン協会員によるテント設営、準備



受付開始、あいにくの雨なので来てくれるかな？



建コンのお兄さん、ちゃんとおさえてよ



自分のアサリの大きさ測定



砂等でアサリのベッドを作って飼育床に入れる



海につける前に名札の確認



海につけると、こんな感じ



大きくなりますように！  
次回が楽しみだなー

平成 24 年 7 月 21 日(土)

飼育アサリの測定, 貝殻アート作り, ルイスハンミョウの観察



建コンの人が海から揚げた自分のアサリを探して、  
大きさを測定します。



測定後にアサリの絵を描きます！



絵を描いたら、ふたたび海に戻します



次はフォトフレームづくりだ！



貝殻アートのフォトフレームが完成！



最後はルイスハンミョウ探し！

夏休みの初日の暑い一日だったけど、みんな元気で楽しそうでした。

建通新聞 平成24年8月10日(金曜日)

5月×奥  
法人とくしま産業振興機  
構、電話0888(654)  
0101。

月11日まで)、1階市民  
ホール(9月4日から11  
日まで)、山川庁舎(9  
月13日から20日まで)で  
それぞれ開催する。この  
ほか阿南市役所1階フロ  
アでも28日から30日ま

で、県庁1階フロアで  
も9月3日から14日まで  
それぞれ開催される予  
定。

また、街頭キャンペー  
ンでは、当日午後4時か  
らJR徳島駅前で県職員  
らが啓発チラシやグッズ  
などを配布することにし  
ている。

**小学生ら招き海の  
環境学習会行う**  
建通新聞 徳島県  
建設コンサルタンツ協  
会四国支部徳島県部会  
(坂東武会長)は7月21  
日、徳島県内の小学生児  
童と保護者を招き、「海  
の環境学習会」を行った  
(写真)。6月24日にも  
学習会を実施しており、



2回で児童39人、保護者  
21人が参加した。  
学習会は子どもたちに

海辺での自然観測を通じ  
て命のはかなさや逞しき  
に触れてもらい、身近な  
自然の価値の再発見と科  
学への関心を高めてもら  
おうと社会貢献活動の一  
環で実施した。

当日は徳島市のマリン  
ピア沖洲人工海浜で「か  
ぐやアサリ姫プロジェクト」の初弾として6月24  
日の開催時に竹で作っ  
た、飼育床のアサリの飼  
育状況の観察や希少生物  
のルイスハンミョウを捕  
獲・観測する「観察会」  
を実施した。

坂東会長は「地域に根  
差した建設コンサルタン  
トの在り方を求めて、今  
後も積極的なPRや海浜  
学習を地元と連携して行  
っていきたい」と意欲的  
だ。